

このことについて、新公営企業会計システムは、本年10月1日の運用開始を予定していた

ことから、同日、各課の庶務担当者等を特別会議室に集め、各課が想定するシステム上の処理

が可能であるか、実機を使い確認を行いました。しかし、不具合が多く、会計処理に支障をき

たす可能性があることから本稼働については、一時見送ることとなり、その後も各課において

検証を続け、想定されるシステム上の処理が可能であるかの確認及び不具合がある場合は、企

業出納課に報告するよう依頼しておりました。企業出納課では、報告のあった事案をリスト化

し、整理・確認のできた事案から適宜、管理者に報告し、修正を依頼していたところですが、

10月26日現在、別紙リストのとおり多数の事案があることから、リストを管理者に提出し

現在の状況を報告してよろしいか伺います。

新会計システムに対する職員の意見

処理区分	内容
10 その他	伝票1枚打ち出すのにエクセルを2重で開いて、コピー、貼り付け、マクロ実行など工程が多すぎる。
9 その他	奈良市の会計システムにも関わらず名称に企業団の名前を使っている
8 その他	システムにデータを登録後、伝票を作成する工程（テキストデータ出力→数十種類のエクセルファイルから正しいファイルを選択→選択したファイルにテキストデータをコピー→3～4つのマクロ実行→印刷調整）に手作業があるため、データと現物の伝票が一致しないリスクがある。システムとしてはあり得ない。現行システムは印刷ボタン押下のみ。
7 その他	下水道会計は、予算の設定すらされていない。
6 その他	伝票を作成する工程が手作業である理由として、県域水道一体化で使用するため、拡張性を持たせたと局長自ら職員に説明があったが、奈良市の費用で作成したものなのに、奈良市企業局の職員が県域一体化のために我慢することが納得できない。
5 その他	紙ベースの伝票1枚作成するのに時間がかかりすぎる。
4 その他	予算編成や起債管理ができない。仕様書に書いていないのか？
3 その他	システムのタイトルに「奈良県広域水道企業団」と表示されている。
2 その他	エクセルのスキルが必要。誰が管理するのか
1 その他	予算編成のメニューがない。

意見については、修正依頼の報告のうち、修正依頼に分類できないもの及び修正内容確認のための聞き取りにおいて得た意見を整理したものです。

新会計システムに対する職員の意見

処理区分	内容
23 その他	<p>システムを起動させると「公営企業予算執行管理システム 奈良県広域水道企業団」とあり、その下に「奈良市水道事業会計」、「奈良市下水道事業会計」と表示があるが下水道事業会計をクリックするとSERVER ERRORが表示される。</p> <p>令和3年10月1日から新システムを使用し、旧システムの使用を認めないとの池田管理者からの下知であったが、上水道会計で伝票をたった1枚すらも正しく作成できません。また、下水道事業会計に至っては作られてもいない状況です。</p> <p>これは、数年後に奈良県広域水道企業団で使うシステムとして、奈良市企業局を練習用の実験台にしているのでしょうか。企業団の構想にない下水道事業会計が最初から作られていないこともそうであるなら理解できます。</p> <p>このような行為は奈良市に対する背任行為であり、また、企業局職員への侮辱行為であり到底許されることではありません。</p> <p>住民監査請求での監査員への主張や奈良市議会、各種委員会等での答弁に偽った内容がないか調査が入らないことを祈っております。</p>
22 その他	<p>富士通の財務会計システムの保守委託が令和3年9月30日で終了しており、同年10月1日から新システムが稼働していることが前提となっている。しかし、未だに稼働できておらず、システムサポートを全く受けられない状況で富士通の財務会計システムを使用している。また、サーバーの要領がすでにパンクしてもおかしくない状況との説明を富士通から受けていたが、いつ業務が停止してもおかしくない状況下でどのようなリスクヘッジをご用意されているのか知りたい。</p>
21 その他	<p>新システムをインターネット上で操作していることに気づき驚いているが問題としなくてよいのか。個人情報が多く含まれており流出する可能性はないのか。このような外部にサーバーを置く案件は個人情報保護審議会に諮る必要はなかったのか。一時仮置きであった場合でも個人情報を外部に晒すこととなっているが、議員へ答弁している内容と合致しているのか。</p>
20 その他	<p>システム作成委託受注者の㈱アドヴァンスは社員数や事務所等が、通常、自治体などに納品する一般的なシステム販売会社と比較して著しく小規模であること。また、当該システムについての担当者と思われる人物は代表者以外の名前を聞くことがないこと。その代表者に指示を出していたのは池田管理者のみであること。この両名もしくはいずれかに万が一の事故や欠けることあった場合にシステムの不具合や軽微な補修、又は会計制度の見直しのような大がかりな改修が発生した場合、会社として対応できないのではないのか。</p>
19 その他	<p>奈良市議会において三橋議員の質問に対し、当該開発委託は広域化とは関係ないと池田管理者は答弁されているが、令和3年10月1日に伝票の様式は広域化を見据えてシステム外のエクセルで自由にレイアウトできると池田管理者から説明があった。仮に一部事務組合として奈良県広域水道企業団が設立された場合、参加団体の財務会計システムを当該システムに切り替えるのか。その場合、㈱アドヴァンスは各団体に合わせたセミオーダーメイドの開発委託や保守委託を何重にも受注することになるのか。そのあたりのビジョンがどうなのか。ボタン一つで本来ペーパー出力されるはずの伝票作成に不便を強いられるであろう現奈良市職員の立場として知る権利があると感じている。</p>
18 その他	<p>その都度、伝票のエクセルを選択しなければならない。</p>
17 その他	<p>予算要求ができない。</p>
16 その他	<p>伝票作成時に自動でエクセルを選択できないのか。</p>
15 その他	<p>直感的に使えない。誰でも使えない</p>
14 その他	<p>企業団になるのはまだ先なのに、なぜ、今、このシステムを使う必要があるのか分からない。このシステムを使うことによってロスする時間は、一体化のために必要な時間とは思えない。</p>
13 その他	<p>簿記や公営企業会計の知識がなければ、正しく使えないので、会計年度職員にも知識を持ってもらわなければ、仕事を頼めない(職員の手助けにならない)。</p>
12 その他	<p>これまでの会計システムと構造がことなり、エラーチェックができないため、使用者が自由に入力・作成ができる。このシステムを使うのであれば、人間が会計システムに合わせていく必要があり、伝票入力・作成の統一したルールを新たに設けなければ、人によって考え方がバラバラなものができる。</p>
11 その他	<p>自由度が高すぎるので、間違いを起こしても気が付かない。</p>

新会計システムに対する職員の意見

処理区分	内容
37 その他	紙に出力された伝票や伺書の簿記の仕訳が左右でなく上下となっている。直感が働かなくなり、事務に支障が出る。左右に戻してもらいたい。
36 その他	サーバの維持に係る費用と業務を軽減する目的のクラウド化に対して、新システムは、作業や判断など本来機械ができることを職員がしなければならない。更にメンテナンスは職員がしていくことになる。理念に一貫性がなく、眼中には一体化だけでこれを強行するため、職員をないがしろにしたご都合主義と言わざるを得ない。
35 その他	直近の支払ができないのではないかという不安や、支払えたとしても決算時に過去のデータをたどることが難しいのではないかという不安。知らず知らずのうちにセキュリティ面や支払いが遅れる等、事務処理に時間がかかり違法行為をしてしまわないかという不安。
34 その他	単純作業は機械的に処理し、他のことに職員の時間を費やしたいところだが、まず単純作業がうまく作動できない。
33 その他	現在使用しているシステムより効率的とは言えない。できれば現在のシステムで非効率的だと感じている部分が改善され、業務が円滑に行えることが望ましいと考える。(具体的には検索機能の不備や印刷方法、不具合やセキュリティ面)
32 その他	伝票の作成や、データの登録、印刷することが可能でも予算書や決算書を作成する際にミスが起こりやすい部分が多かった。そのため人為的ミスを訂正することが業務の中心になってしまうのではないかと感じた。
31 その他	システム開発の流れは、ご存じだと思いますが、通常、①使用部署にヒアリング(何をするのか・改善したいのか、どんな人が使用するのか、伝票の件数、使用台数、使用場所)、②出力帳票や出力画面のレイアウト作成(何を紙や画面に出力するのか。)、③入力画面レイアウト作成(②の出力をするための必要項目を、どんな画面で入力するのか。)、④ファイル設計(②や③の処理に必要な1件当たりのデータの項目や桁数などによりファイルの大きさを決め、伝票件数を掛けてシステムに必要なデータの容量を決める。)、⑤容量や用法に見合ったハードやネットワークの調達、⑥ソフトの調達(購入・委託開発・自主開発)、となると思います。 この流れは、ソフトがパッケージ購入・委託開発・自主開発のいずれであっても、あまり変わらないと思います。大事なのは、最終的にシステムを使用する末端のユーザーが「以前より仕事ははかどっている、業務改善できている。」と幸福を感じることができることではないでしょうか？そうでなければ、時間や費用や労力の無駄遣いであり、これは不幸なのではないでしょうか？偉そうなことを申しまして、申し訳ございません。
30 その他	開発にあたり、ベンダーに頼らず、低額な予算で作成する、という方向性は間違いではないと思います。しかし、ユーザー目線で作成されておらず、日々の伝票作成や支払いや決算作成に多大なる不安を覚えます。各課の作成現場は大混乱し、未払いや二重払いの発生、決算ができない、などが目に浮かびます。経営の根幹を為す会計システムがこれでは、経営ができていない、ということになり、市民への背信行為になると思います。これ以上、無駄な時間を費やすのではなく、現実路線に転換していただきたいと思います。
29 その他	操作マニュアルが必要
28 その他	システムの画面がスクロールが必要で、全体的に見にくい。
27 その他	決算を締めることができるのか
26 その他	年度途中でシステムを入れ替えると事務に混乱を招かないか
25 その他	未収金又は未払金の仕訳を本体と消費税ごとに仕訳ける必要がないのでは
24 その他	課別の日計表及び月計表は必要

新会計システム修正依頼リスト

	処理区分	内容	重要度 1<2<3		
35	10月12日	負担行為	金額の先頭に「0」が入力できる。その場合、金額欄のデータは文字列になる	3	
34	10月12日	負担行為	支払日を入れないと作成できない。1年分の負担行為で毎月払いの処理ができない	3	○
33	10月12日	支出	支払先の銀行名がコードだけで確認ができない。	3	○
32	10月12日	負担行為	負担行為伝票に相手方がない	3	○
31	10月12日	その他	帳票出力（テキストデータ）するとフリーズする。再起動が必要	3	
30	10月12日	その他	相手方登録で代表者が登録できない	3	○
29	10月8日	支出	負担行為を参照した勘定科目の自動入力ではない	1	
28	10月8日	その他	伝票のフォーマットで「決裁」が「決済」になっている	2	
27	10月8日	その他	相手方名（職員）が苗字だけになっている	3	○
26	10月8日	帳票	予算執行状況が課単位で出力しない。現計予算しか出ない	3	○
25	10月8日	帳票	予算執行状況で当初・流用・補正予算がでない	3	○
24	10月8日	帳票	印刷用エクセルのフォーマットがない	3	
23	10月8日	検索	受託負担金のデータがない	3	○
22	10月8日	調定	負担金登録ボタンを押すと検索画面に戻る	3	○
21	10月8日	支出	年度当初に負担行為をし、毎月支出伝票を出力する処理ができない	3	○
20	10月8日	その他	流用伺において、予算現額が当初予算のまま	3	○
19	10月8日	その他	印刷エクセルの転記位置がずれている	3	
18	10月1日	調定	処理ができない。支払の画面に飛ぶ	3	○
17	10月1日	その他	新規相手方登録でNo.が取得できない	3	○
16	10月1日	支出	前払金の処理ができない	3	○
15	10月1日	支出	前渡金の伝票が作成できない。負担行為は不要	3	○
14	10月1日	支出	納付書払にすると相手方が表示されない	3	
13	10月1日	負担行為	税額が表示されない	2	○
12	10月1日	調定	エクセル取り込みによる料金調定伺の簿記伝票が白紙になる	3	○
11	10月1日	還付	漏水還付のエクセル取り込みができない	3	
10	10月1日	支出	相手方の口座情報がマクロで正しい位置に転記されない	3	○
9	10月1日	振替伝票	メニューがない 引当金・不納欠損・立替金・預託金・除却・建仮から資産への振替・未処分利益剰余金の処分・預り金処理等の会計処理ができない	3	○
8	10月1日	エラーチェック	権限のない科目、配付のない科目が選択可能	2	
7	10月1日	エラーチェック	存在しない勘定科目の組合せが可能	2	
6	10月1日	エラーチェック	予算額を無視した負担行為が可能	2	○
5	10月1日	エラーチェック	負担行為を無視した支出が可能	2	○
4	10月1日	エラーチェック	貸方借方の金額が不一致でも処理が可能	2	
3	10月1日	エラーチェック	他の所属の予算執行が可能	2	
2	10月1日	エラーチェック	税率を設定しても自由に税額が可能	2	
1	10月1日	調定	累積調定の概念がない	3	

重要度についての注釈

- 1 事務効率の向上に必要な機能
- 2 解消されないとミスを誘発し、事務効率も下がる。一応の会計処理はできる
- 3 解消されないと会計処理ができない

右欄「○」は、事象を整理後、管理者に修正依頼をお願いしたもの。

新会計システム修正依頼リスト

	処理区分	内容	重要度 1<2<3		
74	10月18日	検索	検索条件が限定的。入力項目であれば、すべて検索条件として選択ができ、その範囲（例：金額であれば〇〇円～〇〇円）も指定できることが必要。またその検索結果で抽出された伝票のデータをエクセルに出力する機能が必要	3	
73	10月18日	支出	支払先の情報がフォーマットとズレている	3	○
72	10月18日	その他	各種伝票において経理審査及び出納審査の区別がされていない	2	
71	10月18日	その他	予算流用何で誤表記やズレがある	3	
70	10月18日	その他	相手方登録で重複して採番される。また、採番は相手方の種別により整理されるべきである。番号検索の機能がない。番号で管理しなければ同姓同名の相手方を識別することは困難	3	
69	10月18日	その他	直感的に使えない。（マニュアルがない）	3	○
68	10月18日	負担行為	支出負担行為で税抜額が表示されない	3	
67	10月18日	負担行為	支出負担行為額が視覚的にわかりにくい	2	
66	10月18日	支出	負担行為で将来の簿記を入力しても支出伝票に反映されない	2	
65	10月18日	エラーチェック	消費税が空白でもエラーが出ない	2	
64	10月18日	負担行為	相手方が空白でも登録できるが検索画面に戻る。登録後相手方の修正ができない。	2	
63	10月18日	検索	相手方検索で複数の条件で検索ができない	2	
62	10月18日	負担行為	負担行為に相手方が表示されない。（富士通システムから移行した負担行為データに相手方がない）	3	○
61	10月18日	その他	予算伝票・簿記伝票の項目と入力内容が別枠で見づらい	1	
60	10月18日	その他	伝票を印刷する際のボタンが欲しい	1	○
59	10月14日	入金	J31簿記伝票3の勘定科目が左右逆	3	
58	10月14日	その他	相手方のデータは、債権者の法人名、代表者名など旧システムから移行されていない	3	
57	10月14日	検索	予算執行状況を月で絞ることができない	2	
56	10月14日	検索	検索結果をcsvとして出力することができない	1	
55	10月14日	帳票	合計残高試算表が月ごとに絞ることができない	2	○
54	10月14日	その他	前渡金の伝票で債権者を所属長とすることができない	3	
53	10月14日	支出	前渡金は既存のデータからしか作成できない	2	
52	10月14日	負担行為	J56メニュー内で何をしてもサーバーエラー	3	○
51	10月14日	その他	J53～J55のメニューを選択するとエラーになる	3	
50	10月14日	検索	検索結果から一つを選択し、閲覧又は作業後「戻る」で検索画面に戻ると検索結果がリセットされている。	2	
49	10月14日	調定	課単位の検索ができない	2	
48	10月14日	検索	伝票の検索項目が限定されている 入力項目すべてで検索できることが望ましい	1	
47	10月12日	その他	お気に入りに登録すれば、ログインの工程をカットできる	2	
46	10月12日	帳票	予算執行状況が課単位で出力できない。款ごとに抽出しなければならない。	2	
45	10月12日	エラーチェック	ひとつの操作が途中でも次の操作に移れる	2	
44	10月12日	帳票	予算執行状況は予算残額が計算されていない	3	
43	10月12日	帳票	現計予算と予算執行状況が別の表になっている	2	
42	10月12日	検索	摘要コードがないことと検索条件を選択できないため、伝票作成時のサンプル検索や予算執行確認の伝票検索に時間がかかる。また、摘要コードを設定することで予算、勘定科目等の誤りがなくなる。	2	
41	10月12日	検索	収入予算処理の簿記伝票自由作成で過去伝票を検索すると収入以外の伝票も検索される。また、摘要が支払先の金融機関になっている	2	
40	10月12日	その他	バックスペースキーでも全画面に戻る	2	○
39	10月12日	その他	伝票等の印刷するのに毎回範囲を設定しなければならない	2	○
38	10月12日	その他	マニュアルがないので正しい操作かどうか確認できない	3	
37	10月12日	その他	「戻る」のボタンがあつたりなかつたりなど操作方法に一貫性がない	3	
36	10月12日	その他	決裁欄の方向が逆。課長決裁までしかない	2	

新会計システム修正依頼リスト

	処理区分	内容	重要度 1<2<3		
107	10月26日	その他	審査欄の修正はすべて手作業	2	
106	10月26日	その他	システム上にヘルプやマニュアルが必要	2	
105	10月26日	入金	調定荷から引用して収入伝票が作成できない	2	
104	10月26日	その他	「0」等、複数の文字が文字化けしている	2	
103	10月26日	その他	伝票の削除ができない	3	
102	10月26日	その他	伝票作成中エラー表示されると伝票が未完成のまま登録される	3	
101	10月26日	その他	J84のエクセルファイルがない	3	
100	10月26日	その他	システムを重複して立ち上げることができる	2	
99	10月26日	その他	相手方検索で「かな」「種別」など複数条件の絞り込みができない。	1	
98	10月26日	支出	システム出力のテキストデータに相手方情報がない。住所・会社名・代表者名	3	○
97	10月26日	支出	口座情報がない場合、マクロ実行で前回の口座情報が残る	2	○
96	10月26日	支出	不課税でも簿記伝票2で1円以上の金額入力を要求される	3	
95	10月26日	その他	発行済み伝票で相手方や支払日の変更ができない。	3	
94	10月26日	支出	支出伝票を一件処理番号から作成した場合、負担行為で入力した簿記伝票の勘定科目が引き継がれない。	3	
93	10月26日	支出	負担行為で課税を選択しても、支出命令で税抜と税額に仕訳されない。借方の未収金が自動で表示されない	3	
92	10月26日	入金	J34簿記伝票1-2で借方に消費税、貸方に収入科目となる。 正→借方 未収金 貸方 仮受消費税	3	
91	10月26日	調定	J34不課税にしても消費税が消費税の簿記伝票が作成される。 0円にするとエラーチェックがかかる。	3	
90	10月26日	調定	J34消費税額が切り上げになっている	3	
89	10月26日	その他	数値にカンマがないため、桁がわかりにくい	1	
88	10月26日	その他	他課の予算を執行しようとするシステムでの表示は、操作職員の所属であるが、データは他課で作成される。	3	
87	10月26日	還付	支出単独（兼伝票）予算伝票を非課税で作成しても、簿記伝票1-2で税額が自動で表示されるため、1-2の登録のチェックボックスを外しても消費税の簿記伝票が作成される。マクロ実行で予算伝票が2つできる。執行前執行済額が0 執行後執行済額は予算現額に執行現額を加算した額になっている。簿記伝票2で消費税額だけ表示され、支払額に加算されている。	3	
86	10月22日	振替伝票	前払金の精算ができない	3	○
85	10月22日	調定	J34簿記伝票の消費税の仕訳が逆	3	
84	10月22日	調定	J34加算分担金の調定が作成できない（サンプルなし？） 都祁・月ヶ瀬に加算分担金がないのにプルダウンに表示される	3	
83	10月21日	負担行為	戻入ができない。調定で支出予算の減をすると旅費の場合、支出予算としての旅費と収入予算としての旅費それぞれで管理される。	3	
82	10月20日	調定	調定の減額ができない。減の欄に金額を入力しても、調定が増額される	3	
81	10月19日	その他	メンテナンスメニューに金融機関マスタがない	3	
80	10月18日	入金	J38前受金の伝票作成において債務者の入力ができない。	3	
79	10月18日	その他	出金伝票及び出金明細において、項目と内容の不一致又は空白となる箇所が多数ある	3	
78	10月18日	調定	累積調定ができないため、会計システムによる年度ごとの未収金及び収入管理ができない	3	
77	10月18日	負担行為	過去の負担行為（現行システムからデータ移行したもの）を参照した場合、相手方が反映されていない。	2	
76	10月18日	調定	J30調定額を減にしても、勘定科目がそのまま	2	
75	10月18日	検索	J30調定で検索結果を選択後、検索結果に戻り別の伝票を選択しても同じ伝票の内容が表示される。	3	

令和2年度 奈良県 流域下水道 処理区別 市町村負担金 維持管理経費

単位:円

浄化センター		第二浄化センター		宇陀川浄化センター		吉野川浄化センター	
奈良市	2,238,621,681	大和高田市	175,529,790	宇陀市	110,072,811	五條市	114,105,514
大和郡山市	769,187,093	橿原市	738,371,484			吉野町	10,949,882
天理市	533,731,524	御所市	50,076,818			大淀町	88,094,118
桜井市	197,163,946	香芝市	283,469,055			下市町	4,817,687
生駒市	313,003,340	葛城市	247,506,932				
香芝市	39,374,193	高取町	6,009,259				
平群町	72,443,412	明日香村	31,244,071				
三郷町	127,539,120	上牧町	126,904,748				
斑鳩町	75,001,138	王寺町	135,536,557				
安堵町	27,189,835	広陵町	114,875,838				
川西町	53,790,271	河合町	110,196,498				
三宅町	33,521,081						
田原本町	194,002,141						
広陵町	81,834,818						
食肉公社他	6,664,318						
合計	4,763,067,911	合計	2,019,721,050	合計	110,072,811	合計	217,967,201

市町村負担金	4,763,067,911	市町村負担金	2,019,721,050	市町村負担金	110,072,811	市町村負担金	217,967,201
維持管理経費	3,357,000,000	維持管理経費	2,086,000,000	維持管理経費	434,000,000	維持管理経費	656,000,000
差引	1,406,067,911	差引	-66,278,950	差引	-323,927,189	差引	-438,032,799

577,828,973

271,577,162 ← 黒字還付

奈良市 660,845,944 円(試算 1,406,067,911 × (2,238,621,681 ÷ 4,763,067,911))

47.00% 過払い

黒字 ⇒

市町村負担金計	7,110,828,973
維持管理経費計	6,533,000,000
差引	577,828,973

単位:円

有収水量	77,960,118	有収水量	30,896,335	有収水量	1,742,949	有収水量	3,350,416
処理原価	43.06	処理原価	67.52	処理原価	249.00	処理原価	195.80

※一般単価 54 × 1.1 = 59.4円

実単価 7,110,828,973 ÷ 113,951,119m³ = 62.40円

62.40316218

113,949,818

奈良県下水道課からの資料により議会での議論が深まるよう作成したものでオーソライズされたものではありません。

下水道法

(市町村の負担金)

第31条の2 第三条第二項又は第二十五条の十第一項の規定により公共下水道又は流域下水道を管理する都道府県は、当該公共下水道又は**流域下水道により利益を受ける市町村に対し、その利益を受ける限度において、その設置、改築、修繕、維持その他の管理に要する費用の全部又は一部を負担させることができる。**

2 前項の費用について同項の規定により市町村が負担すべき金額は、当該市町村の意見をきいたうえ、当該都道府県の議会の議決を経て定めなければならない。

**総額でも受益の限度(実費)を超えて(577,828,973円)負担させている。
法を逸脱しているのではないか。**

国土交通省水管理課・国土保全局下水道部
下水道企画課管理企画指導室 回答文書を転記

ご指摘の複数処理区で統一単価を採用することも、総額として**実費を超えない範囲内である限り**、流域下水道管理者たる都道府県の裁量の範囲内と考える。(同地方公共団体内で複数の処理区がある公共下水道において広く一般的に採用されているところ。)

※私見

公共下水道については、地方自治法244条第3項に公の施設を利用することによって、不当な差別的な取り扱いをしてはならない。と規定されていることから上記統一単価の採用についての例示とはならないと考えられる。